

令和5年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業
キックオフミーティング 配布資料

活動団体名：NPO法人大月地域資源活用協議会

活動地域：高知県幡多郡大月町

活動におけるテーマ

『大月の山から繋がる地域循環共生圏

複数のぼちぼち山業で豊かな生活スタイルをつくる』

本事業への関わり：2年目

活動団体と地域の紹介

地域の現状と課題

- ・農業、漁業が盛んな地域
- ・ダイビングのメッカと呼ばれるくらいきれいな海があり、地上からもサンゴ礁を見ることができる
- ・林業従事者の不足によって、間伐等が進まない荒廃林が増えている
- ・木を伐る仕事だけで家族を養うのは大変
- ・雑木林の活用がされていない

資源

- ・森林、山林資源→原木市場で取引されない広葉樹などは隣の市のチップ工場へ持っていかれる
- ・大月町備長炭生産組合や森林組合、小規模林業従事者のような大月町の森林資源で生計を経てる団体、個人
- ・多様な移住者：こういことがしたい！という意志があり、生活の中で実践している

活動団体の紹介

四国の西南端、大月町でこれまで「当たり前なもの」として見過ごされてきた地域の宝を探し、その恵みを次世代へ渡すために色々な取り組みを支えています。美しい海で楽しむクリアカヌー、観光ガイド、自伐型林業、へんろ古道活用、お遍路さんと地域住民との交流所「よっちみたや」、国際的な芸術文化交流など、お金に換算できない、統計には表れない「豊かさ」も伝えていこうとしています。



<https://www.orranc.com/>



地域の「ありたい未来」を実現するために何をするか

地域のありたい未来

大月の山から繋がる地域循環共生圏

複数のぼちぼち※山業で豊かな生活スタイルをつくる

※山業:山の資源を活用して生業にしている人。木を伐採する人だけではなく、木や山地を活用する人も含めた生業。

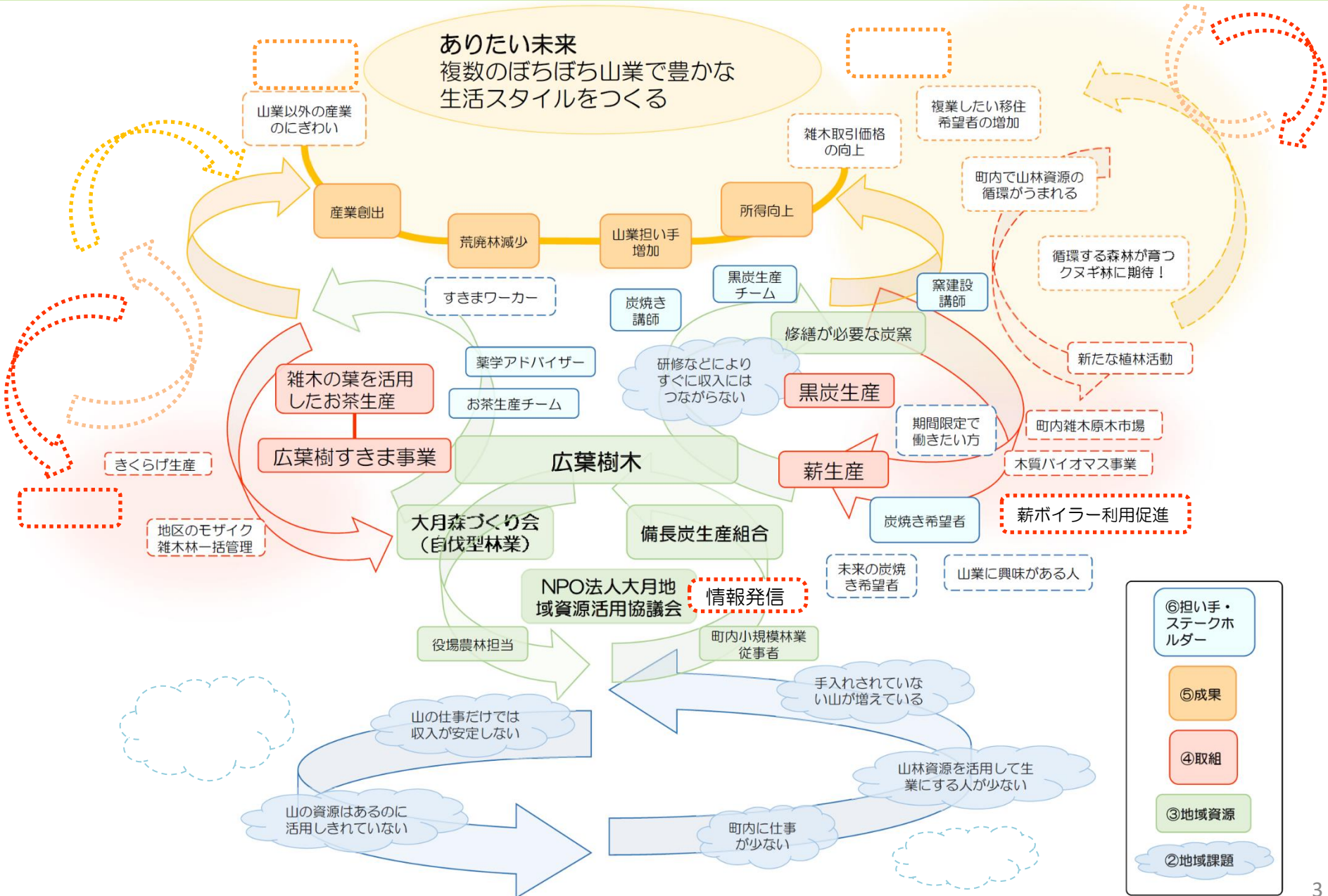
地域のありたい未来を実現するために、中長期的に見て必要な取組や仕組みは何か

- ・循環する山林資源を把握、整える
- ・山業従事者の研修制度をつくる
- ・みつけた事業のタネを育てる
- ・新たな山業従事者を増やす
- ・魅力的な地域づくり・発信
- ・移住者同士のコミュニティ、移住者と地域をつなげる運営チームの強化
- ・町内で広葉樹の消費をふやす仕組みづくり→町内で木質バイオマスの稼働を目指す

今年度取り組みたい事（本事業でチャレンジしたい事）

- ・生業をつくる：みつけた事業のタネを育てる
- ・新しい仲間を見つける：地域の魅力をつくり、発信する
- ・知ってもらおうきっかけづくり：町内・町外で活動に関わってくれる新たな協力者を見つける

現時点の地域版マンドラ



活動計画（概要）

地域プラットフォームを形成して 解決したい地域の課題

- ・山師さんが足りていない
- ・山主さんとの繋がりがうすい
- ・活用されていない広葉樹の使いみちを模索したい
- 利益率の高い活用方法は？
- ・町内に仕事が少ない

地域のありたい未来

- 複数のぼちぼち山業で豊かな生活スタイルをつくる
- ・山業×〇〇で魅力のある町
- 山業以外の〇業が町内でにぎわっている状態
- 活発な活動をしている地域は魅力的

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等）

- ・生業をつくる：事業のタネの生産体制を整える,担い手が欲しい団体と担い手になりたい人をつなぐ
- ・情報を発信する：行政と民間がともに町内山業従事者を増やすために情報交換しリソースの共有をする
- ・山主が山師に山を預けられる仕組みづくり
- ・町内で広葉樹の消費を増やす仕組みづくり

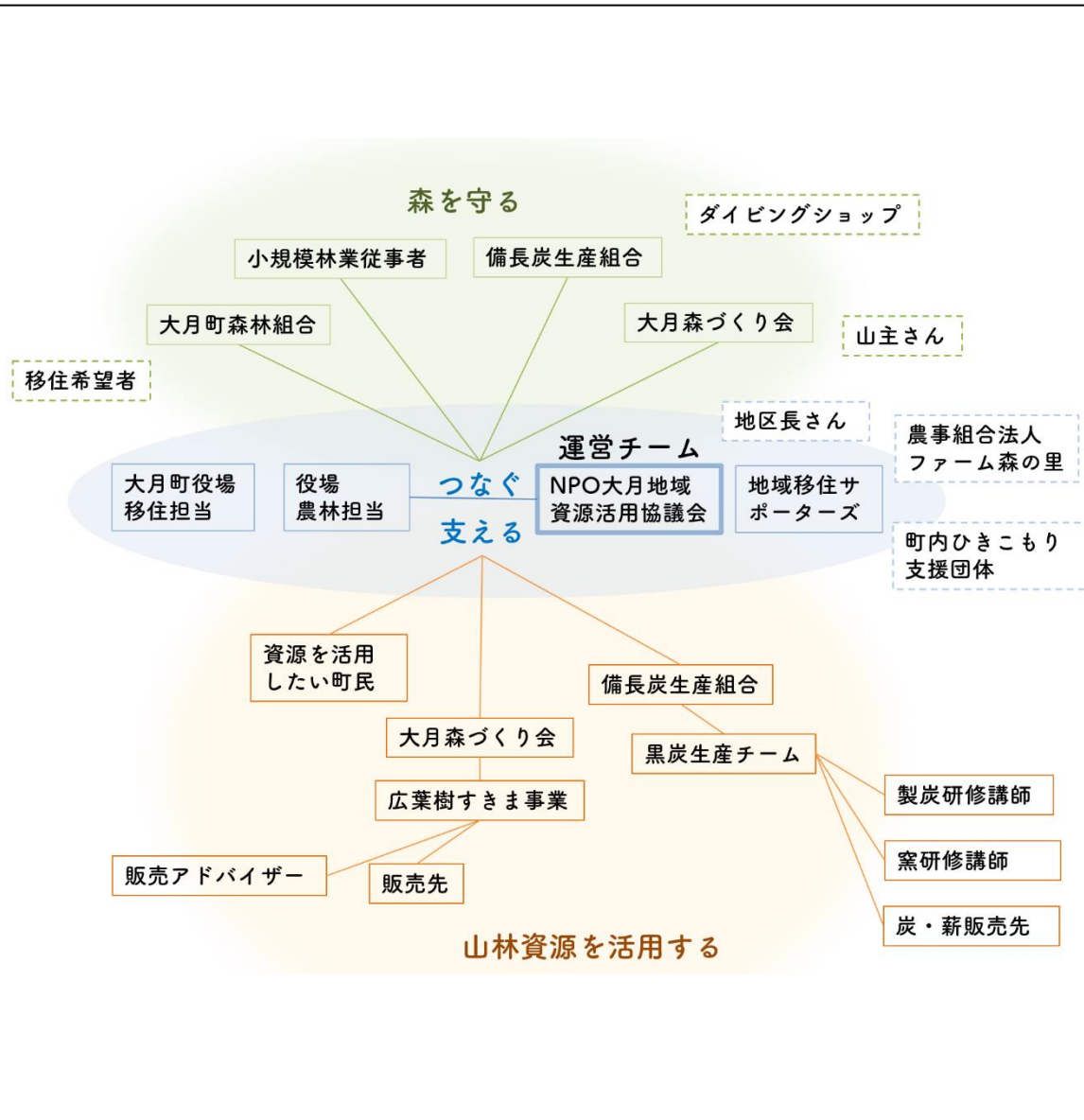
想定している資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

- ・森林・山林資源とその関係事業者
- ・町内に山を所有する山主
- ・多様な移住者：こういことがしたい！という強い意志をもち、生活の中で実践している
- ・NPO法人大月地域資源活用協議会：移住者と地域住民を繋ぎ、やりたいことのある移住者の背中をおす
- ・大月町備長炭生産組合：立ち上げから10年以上、地域の若者に雇用を生んできた山業事業者
- ・大月町役場産業振興課・まちづくり推進課：情報共有・地域おこし協力隊・山業事業者増を目指す

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

2023年3月 1年後の地域プラットフォームのイメージ

←新たに^{ステークホルダー}加わってほしいSH



- ・山主さん
- ・町内ダイビングショップのスタッフ
- ・町外事業のタネに関わる講師・アドバイザー
- ・地区長
- ・町内ひきこもり支援団体
- ・農事法人

←想定している課題・阻害要因

- ・山主さんとヒアリングができていないので今後の活動の理解をもらえるか
- ・民間だけでは限界がある。行政をどこまで巻き込むことができるか
- ・広葉樹すきま事業の数を増やしたいまたどの程度の経済効果が見込めるのか

年間スケジュール

